



らんこし 社協だより おもひやり

第 138 号
令和 5 年 4 月 14 日発行
(春号)



高校生除雪ボランティア活動

(2月2日 / 蘭越町内)



蘭越小学校紙製募金箱作成

(2月14日 / 蘭越小学校)



老人クラブスポーツ交流会

(2月15日 / 総合体育館)



三和地区福祉懇談会

(3月1日 / 三和コミュニティ会館)

社会福祉法人 蘭越町社会福祉協議会
〒048-1301
北海道磯谷郡蘭越町蘭越町8番地2
(ふれあいプラザ21内)
TEL : 0136-57-5203
FAX : 0136-57-5993



蘭越町社協ホームページ



<https://www.rankoshi-shakyo.jp>
[PC・携帯でご覧いただけます]

新年度にあたり

社会福祉法人 蘭越町社会福祉協議会

会長 難波 修二

春陽の候、町民の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

昨年度を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症が蔓延し、諸事業の中止や縮小開催など目に見えない感染症と常に隣り合わせの中で業務を行わなければならず、苦境に立たされた年でしたが、皆様方も不安な日々を過ごされたのではないかと存じます。当協議会としましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、休業や失業等で生活資金にお困りの方々に向けた緊急小口資金の特例貸付事業の窓口業務を昨年9月で終了し、返済が今年1月より始まっており、住民に寄り添いながら、相談及び返済業務の対応にあたって参ります。

さて当協議会は、今年度をもって第5期地域福祉実践計画の最終年度となります。蘭越町においても地域福祉計画が新たに作成されることから行政との両輪となる第6期地域福祉実践計画を策定することになりました。6年間の計画を予定しておりますが、3年後に見直して、変化する福祉施策に対応して参りたいと存じます。特に、新型コロナウイルス感染症対策による福祉事業の変化や事業に対する対応など、今までは違った事業を展開することが求められております。外出自粛や人との接触制限がなくなり、地域での身近な交流や見守り・支え合い・生きがいづくり活動にと、今まで以上に力を注いで参ります。

また、幅広い福祉支援事業、ボランティア活動などの相互援助活動事業を推進するなど、多様化する福祉ニーズに柔軟に対応することを心掛け、地域福祉の中核機関として誰もが安心して暮らせる、ふれあい、たすけあいの地域づくりを目指して事業を展開しています。

このような環境の変化を踏まえた上で、地域福祉の充実に向け、地域住民や関係団体の方々と連携を図るとともに、新型コロナウイルス感染症対策を充分にとり一つ一つの活動を確実な事業を進めて参ります。

昨年度は計画した事業はほぼ実施しておりますが、今年度も理事会等や町民皆様の意見を伺いながら、町をはじめ関係機関、福祉団体と連携

し役職員が一丸となって誠心誠意福祉の増進に努めて参る所存です。終わりに新型コロナウイルスの完全収束を願い、町民皆様方の引き続きのご指導ご支援を賜りたくお願い申し上げます。新年度にあたってのご挨拶

新年度にあたり

蘭越町長 金 秀行

穏やかな春の訪れと共に、南の方から桜のたよりが北上しております。4月は、学校の新学期や、多くの会社では入社式を迎え、入学、進学、就職等、新たな門出を祝う時期です。

新型コロナウイルスの感染症も5月8日から5類感染症に位置づけられることとなり、幅広い医療機関で新型コロナウイルス感染症の患者が受診できる医療体制に向けて、必要となる感染症対策や準備を講じつつ段階的な移行が進められることとなりました。

しかし、感染リスクには変わりはなく、町民の皆様の安全を第一に考え、ワクチン接種など感染拡大防止に向けた取組を今後も続けてまいりたいと考えています。

さて、社会福祉の充実には行政の責務ではありませんが、豊かで活力ある福祉社会づくりは、行政の施策ばかりでなく、地域住民一人ひとりが社会福祉に関心を持ち、自らが活動を進め、地域において共に支え、助け合うことによつて、初めてその成果が期待できるものであります。

令和3年に第1次医療の拠点となる「蘭越診療所」がオープンしてから、2年が経ちました。高齢者の皆様が地域で安心した生活を送っていただけるよう、引き続き予防・介護・医療を組み合わせた体制の確立、充実を図ってまいります。

結びに、地域福祉活動の中核となつて、社会福祉の向上に献身的なご努力をされております社会福祉協議会の役員・職員の皆様、そして会員の皆さん、各関係団体の皆さんに心から敬意を表しますとともに、蘭越町社会福祉協議会がますます充実、発展されますよう心からご祈念いたします。新年度にあたってのご挨拶といたします。

令和5年度事業実施にむけて

基本方針

本格的な高齢化と人口減少社会の到来に伴い、地域社会においては、健康づくりの支援や介護ニーズへの対応と介護予防、障がい者の自立した地域生活への支援、社会経済環境の変化や新型コロナウイルス感染症の影響による生活不安の問題、これまで培われてきた地域のつながりや地域福祉活動が難しい側面もあり、新しい生活様式を踏まえた地域福祉活動の展開が求められています。

また、相談支援や在宅福祉サービスの現場においては、8050世帯やダブルケア、ヤングケアラーの問題のように、制度の狭間に陥ついたり、複合的な課題を抱えるなどして、既存の相談支援機関では対応の難しい事例が、以前よりも増しております。

このような中、社会福祉協議会といたしましては、令和5年度が最終年度となります第5期地域福祉実践計画に代わって新たな第6期計画を策定するとともに、コロナ禍による感染状況を踏まえた各事業の創意工夫と行政や関係機関との多職種連携・多機関協働による取組を一層進め、問題解決とつながりを絶やさないアプローチの視点を持って、事業を展開してまいります。

更には、あらゆる生活課題への対応と地域のつながりの再構築を進めるため、日常生活自立支援、あるいは生活困窮者への自立支援など、既存の相談支援体制の充実を図り、生活全体を捉えた包括的な支援に努めてまいります。

「ともに生きる豊かな地域社会」づくりに継続的に取り組んでいくことが必要であり、それは住民一人ひとりが協働し、日々ともに支え合つて楽しみや生きがいを見出し、生活上の様々な困難を抱えても社会から孤立せず、安心してその人らしい生活を送ることができると社会の実現を目指すものであります。

当協議会の役割は、まず連絡調整であり、幅広く多様なネットワークをつくることをあらためて認識して、取り組んで行くことが必要です。特に地域の福祉関係者とともに、多様な組織・関係者をつなぎ、地域生活課題の解決に向けた支援を創造する「連携・協働の場」になることを目指してまいります。

今年度も在宅生活の支援を図るため、「夕食弁当支援」「高齢者優待制度事業」「福祉有償運送事業」などの安定的な運営に努めてまいります。

また、生活サポートセンター及び法人後見受任事業につきましては、日常生活自立支援事業と併せて、更なる体制強化を積極的に進めてまいります。

蘭越町のボランティア事業については、ボランティア・センターを中心に、地域で活動する人材の発掘・養成に努め、多様な研修や講座の企画とともに、ボランティア組織及び活動者が地域で実践できる場を開拓・提供してまいります。

今年度も次の5つの目標を掲げて重点的に取り組むとともに、自分自身が生きがいや存在感もてる社会づくり、地域貢献ができる社会づくりに積極的に関わることで、より良い地域社会の形勢を目指して、蘭越町と当協議会が一体となつて、地域福祉事業に取り組み、「豊かな自然との共生、豊かな福祉の構築」を念頭におき、地域住民が安心して暮らすことができる福祉社会実現のために、役職員一同努力してまいりたいと思っております。

重点目標

1. 当協議会は、町民・地域団体や組織等との参画と協働を基本として、地域ニーズ（生活課題）への支援の取組や、在宅福祉事業等の生活を支援する取組を展開し、これらを通じて誰もが安全・安心な住み慣れた地域で暮らすことができる福祉社会の実現に向けて、町民の地域福祉活動への支援を進めます。
 2. 当協議会は、非営利性の地域活動の中核的民間団体として、低所得者や制度の谷間にある町民の福祉ニーズへの対応・支援に重点を置き、効果的かつ効率的な事業運営に努めます。
 3. 当協議会は、活動を積極的にPRするとともに、組織の活性化を図り、情報の共有のもとに地域との協働による福祉活動の充実に努め、生き生きと暮らせる福祉のまちづくりを推進します。
 4. 当協議会は、人と人とのつながり、地域と人とのつながり、社会とのつながりとなる事業を行い、住民同士が結びついた地域社会を作り上げる努力をいたします。
 5. 当協議会は、新型コロナウイルス禍において外出自粛が長期化するなかで、生活が困窮したり孤立したりしている人たちとの新たなつながりづくりに努めます。
- 今後、新型コロナワクチン接種の支援に協力して感染防止策を講じながら活動し、感染症収束後にはより豊かな地域づくりの推進に努めてまいります。

令和5年度 蘭越町社会福祉協議会事業計画

一 社会福祉協議会活動の推進

- ・ 定時理事会(2回)・臨時理事会(3回)・監事会(4回)の開催
- ・ 定時評議員会・臨時評議員会の開催(3回)の開催
- ・ 社協財政及び組織運営の充実強化、財政基盤の充実確保
- ・ 社協だよりの発行(春・夏・秋・冬の4回)
- ・ 各種研修会及び会議等への参加
- ・ 小樽・後志地区社会福祉大会の参加
- ・ 第18回らんこし福祉まつりの開催
- ・ 個人情報保護体制の充実
- ・ 小地域ネットワーク活動・ふれあいサロンの推進
- ・ 各種部会・委員会の積極的な運営
- ・ 地域住民への積極的な情報公開
- ・ 住民会員及び特別会員の充実(賛助会員の加入促進)
- ・ 町内会葬祭事業へ支援
- ・ 北海道社会福祉大会への参加(札幌市)
- ・ ホームページを活用した広報活動
- ・ 蘭越町地域福祉計画並びに第5期地域福祉実践計画後期版の実践
- ・ 蘭越町地域福祉計画並びに第6期地域福祉実践計画の策定
- ・ 「ふれあい出前講座」の実施

二 在宅福祉サービスの基盤の強化と住民参加の促進

- ・ 高齢者生活福祉センターを中心とする在宅福祉サービス事業協力
- ・ 地域ふれあいネットワークづくりの推進
- ・ 地域福祉、在宅福祉サービスの推進
- ・ 第47回蘭越町福祉スポーツ大会の開催(総合体育館)
- ・ ボランティアによる声かけ安否見守り体制の支援
- ・ 町ふれあい給食への支援
- ・ 高齢者生活支援事業買物支援事業の展開(週5日実施)
- ・ 高齢者生活支援事業夕食配食事業の充実(1食250円)
- ・ 生活福祉資金・特別生活資金・離職者支援資金等・愛情銀行の貸付
- ・ 地域福祉懇談会の開催(9地区)
- ・ 日常生活用具(福祉機器)貸与・譲渡事業及び付属品委託販売
- ・ 介護教室の開催(一灯園との共催)
- ・ 移送サービス事業の実施(蘭越町からの受託)
- ・ 電話サービス事業の実施(蘭越町からの受託)

三

- ・ 訪問理美容サービス事業の実施(蘭越町からの受託)
- ・ 福祉サービス利用援助事業の運営(道社協からの受託)
- ・ 総合事業の推進(蘭越町から生活支援コーディネーター1名の委嘱)
- ・ (蘭越町生活支援・介護予防サービス体制整備協議会への出席及び生活支援コーディネーターとして地域資源・ニーズ把握等の活動推進)
- ・ 蘭越町いきいき生活支援事業の利用促進
- ・ 生活困窮者自立支援事業者との連絡調整及び利用者支援
- ・ 救急医療情報キットの作成支援
- ・ 終活(エンディング)ノート作成支援及び配付
- ・ 高齢者世帯雪下ろし業者の一覧(社協だより掲載)
- ・ **ボランティアセンター事業の整備充実**
- ・ ボランティア活動団体の活動強化及び事業援助と助成
- ・ ボランティア活動推進協議会の運営
- ・ 関係機関・団体等のボランティア研修会に参加
- ・ 福祉教育懇談会への出席及び福祉教育ボランティア活動の推進
- ・ ボランティア交流会の開催
- ・ ボランティアだより「ほほえみ」の発行(2回)
- ・ 後志地区ボランティア研修会の参加
- ・ 住民各層・個人・企業ボランティア等の活動支援
- ・ 学童・生徒ボランティア活動育成
- ・ 総合的学習事業(小中学生へ高齢者疑似体験事業の実施)
- ・ 中学生・高校生のワークキャンプの開催(一灯園共催)
- ・ 高校生による除雪ボランティア活動への支援
- ・ 高校生による一人暮らし高齢者等への年賀状送付への支援
- ・ 災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルの検証
- ・ 除雪ボランティア及びボランティア登録の推進
- ・ 地区ボランティア組織による総合事業定期サロンの開催支援
- ・ ボランティアポイントの推進
- ・ 住民ボランティアによる病院移送サービス事業の検討
- ・ 介護予防事業のボランティア人材育成及び地域活動支援

四

- ・ **老人福祉活動の推進**
- ・ 高齢者の生きがいと健康づくりの実践活動の実施
- ・ 福祉スポーツ大会参加推進

- 町内・町外福祉施設入居者に対する激励訪問
- ・高齢者の社会参加活動の推進
 - ・独居高齢者住宅の除雪（除雪ヘルパーの配置）とパトロールの実施（冬季就労対策除雪事業・高齢者事業団除雪事業との連携）
 - ・室内レクリエーション交流会の開催（総合体育館）
 - ・レクリエーション用具貸出事業
 - ・各単位老人クラブ及び老人クラブ連合会事業の協力
 - ・高齢者パークゴルフ大会の開催支援
 - ・蘭越町老人クラブ連合会設立40周年記念事業の支援
 - ・第44回後志老人クラブ大会の参加支援（岩内町）
 - ・第3回後志老人クラブパークゴルフ大会の参加
 - ・グラウンド・ゴルフ大会の開催支援
 - ・地区敬老会へ敬老旗の貸出
 - ・単位老人クラブによる総合事業定期サロンの開催支援
 - ・北海道クラウンド・ゴルフ秋季大会への開催支援（蘭越町）
 - ・全道老人クラブ大会の参加支援（札幌市）
 - ・高齢者優待制度「らんこしシルバカード」の発行
- 五 青少年・児童福祉活動の推進**
- ・青少年、児童の地域活動の振興に協力
 - ・青少年健全育成事業・研究会等に参加
 - ・幼稚園児の激励及び養護施設への訪問
 - ・感心な子供（スポーツ・文化）の表彰
 - ・夏休みラジオ体操会の実施（ふれあいプラザ21駐車場）
 - ・高齢者と子供の交流助成事業に対する支援
 - ・総合的学習事業（小中学生へ高齢者疑似体験事業の実施）
- 六 母子寡婦（父子）福祉活動の推進**
- ・児童福祉・母子寡婦福祉事業の助言と自主活動への協力
 - ・福祉スポーツ大会参加推進
 - ・母子家庭の自立安定のため、各種制度の周知
 - ・母子（父子）家庭の優良児童の表彰
 - ・母子寡婦福祉資金の貸付（後志総合振興局及び北海道母連）
 - ・母子寡婦会事業への協力
 - ・後志母子寡婦リーダー研修会の参加支援
- 七 障害者福祉活動の推進**
- ・身体障がい者家庭の援護と社会復帰の助言と協力
 - ・福祉スポーツ大会参加推進

- 八 更生福祉活動等の推進**
- ・蘭越町身体障害者福祉協会活動の支援及び協力
 - ・蘭越町障害者自立支援福祉の会への活動協力
 - ・重度身体障がい者家庭に対する除雪協力（除雪ヘルパー派遣）
 - ・第58回後志身体障害者福祉大会兼スポーツ大会の開催支援（蘭越町）
 - ・南後志ブロック身体障害者交流会の開催支援（寿都町）
 - ・障がい者週間（12月3日～12月9日）における障がい者相談員の周知
 - ・全道身体障害者福祉大会の参加支援
 - ・人工透析患者に対する福祉有償運送事業の実施
- 九 その他**
- ・民生委員児童委員協議会と連絡調整し、福祉活動の充実に努める
 - ・福祉委員及び福祉推進員と連携し、福祉活動の充実に努める
 - ・人権擁護委員及び保護司会との連携及び支援
 - ・（身体・知的）障がい者・戦没者遺族相談員との連携
 - ・心配ごと相談所の運営及び相談員の配置
 - ・苦情申出窓口の開設と運営
 - ・福祉サービスマイル援助事業の実施・周知（日常生活自立支援事業）
 - ・生活サポートセンターの運営及び法人後見受任事業の展開
 - ・蘭越町戦没者追悼式の協力・参加支援
 - ・遺族会活動の助言と協力
 - ・北海道戦没者追悼式の参加支援（札幌市）
 - ・北海道護国神社・札幌護国神社例大祭の参加支援
 - ・全道・後志地区戦没者遺族大会（研修会）の参加支援
- その他**
- ・蘭越町地域包括支援センターとの連携
 - ・高齢者生活福祉センターこんぶとの連携
 - ・居宅介護支援事業所及び訪問介護事業所との連携
 - ・蘭越町役場各出張所（目名・名駒・昆布）との連携
 - ・介護予防拠点センターみなととの連携
 - ・特別養護老人ホーム一灯園等及び北海道愛星学園との連携
 - ・高齢者事業団活動の育成助言と協力
 - ・蘭越町ふれあいプラザ21施設の管理
 - ・共同募金運動・歳末たすけあいの運動の展開
 - ・災害地域に対する救援活動・資材の支援（道社協との協定）
 - ・しりべし圏域総合支援センターとの連携（くらし・しごと相談処）
 - ・各種申請用顔写真撮影支援
 - ・その他必要とする事業

令和5年度
法人全体 資金収支当初予算書
(自)令和5年4月1日 (至)令和6年3月31日

法人：社会福祉法人蘭越町社会福祉協議会

(単位:円)

	科 目			本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減	備 考	
	大	中	小					
事業活動による収支	収 入		会費収入	1,975,000	1,905,000	70,000		
			寄附金収入	1,400,000	1,400,000	0		
			経常経費補助金収入	28,506,000	33,125,000	△ 4,619,000		
			受託金収入	1,826,000	536,000	1,290,000		
			貸付事業収入	200,000	200,000	0		
			事業収入	641,000	566,000	75,000		
			受取利息配当金収入	2,000	2,000	0		
			その他の収入	5,578,000	18,000	5,560,000		
		事業活動収入計(1)			40,128,000	37,752,000	2,376,000	①収入計
	支 出		人件費支出	41,105,000	24,171,000	16,934,000		
			事業費支出	3,007,000	3,096,000	△ 89,000		
			事務費支出	5,894,000	5,520,000	374,000		
			貸付事業支出	300,000	300,000	0		
		共同募金配分金事業費支出	3,321,000	3,409,000	△ 88,000			
		助成金支出	342,000	582,000	△ 240,000			
	事業活動支出計(2)			53,969,000	37,078,000	16,891,000	②支出計	
	事業活動資金収支差額(1)-(2)=(3)			△ 13,841,000	674,000	△ 14,515,000		
施設整備等による収支		施設整備等による収入計(4)			0	0	0	
	支 出		固定資産取得支出	389,000	0	389,000		
			ソフトウェア取得支出	389,000	0	389,000		
		施設整備等による支出計(5)			389,000	0	389,000	
	施設整備等資金収支差額(4)-(5)=(6)			△ 389,000	0	△ 389,000		
その他活動による収支	収 入		基金積立資産取崩収入	1,500,000	1,353,000	147,000	○収入計	
			積立資産取崩収入	14,240,000	0	14,240,000	○収入計	
			サービス区分間繰入金収入	4,158,000	4,171,000	△ 13,000		
		その他活動による収入計(7)			19,898,000	5,524,000	14,374,000	
	支 出		基金積立資産支出	150,000	150,000	0	●支出計	
			積立資産支出	1,300,000	1,817,000	△ 517,000	●支出計	
			サービス区分間繰入金支出	4,158,000	4,171,000	△ 13,000		
		その他活動による支出計(8)			5,608,000	6,138,000	△ 530,000	
	その他活動資金収支差額(7)-(8)=(9)			14,290,000	△ 614,000	14,904,000		
	予備費支出計(10)			60,000	60,000	0	⑩支出計	
	当期資金収支差額合計(3)+(6)+(9)-(10)=(11)			0	0	0		
	前期末支払資金残高(12)			0	0	0	○収入計	
	当期末支払資金残高(11)+(12)=(13)			0	0	0		
	収入合計			55,868,000	39,105,000	16,763,000	①○○○	
	支出合計			55,868,000	39,105,000	16,763,000	②●●⑩	

※サービス区分間繰入金(4,158,000円)は相殺

令和5年度社協事業の各会計予算

○法人運営事業

単位:円

収入科目	予算額	支出科目	予算額	説明
補助金(町)	21,461,000	人件費	39,796,000	職員8名分・退職金1名
会費	1,975,000	事業費	536,000	車両費・燃料費
寄附金	1,400,000	事務費	4,265,000	交通費・広報費・貸借料・渉外費・雑費
受託金(道社)	1,376,000	ソフトウェア	389,000	経理ソフト
受取利息	1,000	その他活動	2,794,000	福祉積立金・退職給付金・繰入金
その他外	5,578,000	予備費	60,000	予備費
その他活動	15,640,000			
* 補助金(共募)	409,000			
収入合計	47,840,000	支出合計	47,840,000	*収支その他活動1,410,000円含む

○地域福祉事業

収入科目	予算額	支出科目	予算額	説明
補助金(町(事業)	912,000	事業費	1,080,000	除雪・シルバカード・施設訪問外
補助金(町(共募事業)	940,000	事務費	327,000	道後志大会・研修費・会議負担金
補助金(共募)	1,285,000	共募事業費	2,930,000	歳末運動・福祉スポーツ・室内レク・福祉祭・
事業収入	290,000			夕食配食・児童福祉費
その他活動	1,132,000	助成金	222,000	ふれあいネットワーク外
収入合計	4,559,000	支出合計	4,559,000	

○受託事業

収入科目	予算額	支出科目	予算額	説明
受託金(町)	120,000	事業費	139,000	移送・電話・訪問理美・福祉サービス利用
受託金(道社)	30,000	事務費	11,000	事務費
収入合計	150,000	支出合計	150,000	

○ボランティアセンター事業

収入科目	予算額	支出科目	予算額	説明
補助金(町)	609,000	事業費	459,000	保険料・活動費・ポイント事業
補助金(共募)	114,000	事務費	31,000	費用弁償
その他活動	278,000	共募事業費	391,000	福祉懇談会・交流会・広報
		助成金	120,000	学童生徒活動費
収入合計	1,001,000	支出合計	1,001,000	

○愛情銀行事業

収入科目	予算額	支出科目	予算額	説明
貸付事業	200,000	貸付事業費	300,000	貸付金1名5万円以内
受取利息	1,000	事務費	1,000	事務費
その他活動	100,000			
収入合計	301,000	支出合計	301,000	

○成年後見事業

収入科目	予算額	支出科目	予算額	説明
補助金(町)	100,000	事業費	5,000	燃料費
受託金(町)	300,000	事務費	395,000	後見ソフト・業務委託費・研修費・保険料
収入合計	400,000	支出合計	400,000	

○福祉有償運送事業

収入科目	予算額	支出科目	予算額	説明
補助金(町)	2,676,000	人件費	1,309,000	職員3名
事業収入	351,000	事業費	788,000	燃料費・車両経費
		事務費	864,000	保険料・車両リース料
		その他活動	66,000	退職給付金3名
収入合計	3,027,000	支出合計	3,027,000	

収支57,278千円-法人運営事業収支 その他活動1,410千円=55,868千円

令和5年度の新規事業の紹介

重点事業

- 第6期地域福祉実践計画の策定【6年間】
- 後志地区身体障害者福祉大会・スポーツ大会蘭越大会
- 蘭越町老人クラブ連合会設立40周年記念事業

検討事業

- ボランティアによる運送事業（町内外への通院）
- 除雪ヘルパー事業（ボランティアの確保）
- 福祉団体の会員減少に対する検討（団体の運営）

※4・5頁の事業計画をご覧ください

※詳しい内容については

蘭越町社会福祉協議会（57-5203）までお問い合わせください。

～ 高齢者等生活支援事業 ～

蘭越町に在住する65歳以上の高齢者が自立した日常生活が送れるよう支援することを目的としており、内容は次の2事業を行っています。

この事業は蘭越町からの補助金により、高齢者が安心して暮らすことが出来るまちづくり、自立した日常生活を送ることが出来るよう、平成21年11月から生活支援員を社会福祉協議会に設置し、蘭越町及び蘭越町社会福祉協議会が共同で取り組んでいる事業です。

(1) 買物支援事業（無料）

○事業内容 日常生活に必要な買物への送迎

○事業の対象者

- ・単身世帯の高齢者、高齢者のみの世帯であって、自宅から商店までの距離が遠く車を運転できない者、又は距離が近くても電動カート、シルバーカー、杖等の利用者とする
- ・障害支援区分1から6までの判定を受け障害者サービス計画書を作成した者

(2) 夕食弁当支援事業

○事業内容

月2～3回、居宅へ訪問し栄養のバランスのとれた食事の提供を行うと共に安否確認を行う事業

○事業の対象者

- ・単身世帯の高齢者等
- ・障害支援区分1から6までの判定を受け障害者サービス計画書を作成した者

○お弁当代1食250円（A マート蘭越店及び街の茶屋の幕の内弁当）

※お弁当代は、希望に応じて1～6ヶ月ごとに請求させていただきます

○配食時間 14時～

実施月	社協夕食弁当配食予定日
令和5年4月	11日(火)・25日(火)
5月	2日(火)・16日(火)・30日(火)
6月	13日(火)・27日(火)
7月	11日(火)・25日(火)
8月	1日(火)・15日(火)・29日(火)
9月	5日(火)・19日(火)
10月	3日(火)・17日(火)・31日(火)
11月	14日(火)・28日(火)
12月	12日(火)・26日(火)
令和6年1月	9日(火)・23日(火)
2月	6日(火)・20日(火)
3月	5日(火)・19日(火)

※詳しくは、蘭越町社会福祉協議会 57-5203

高齢者生活支援員 畑下、福祉係 佐々木 までご連絡ください。

日常生活自立支援事業のご案内

北海道地域福祉生活支援センターの実施する「日常生活自立支援事業」(福祉サービス利用援助事業)では、福祉サービスの利用の手続きや、生活費の管理、年金証書などの大切な書類の預かりをお手伝いしています。

- ご利用いただけるのは、高齢や障がいにより日常生活の判断に不安のある在宅で生活している方、在宅で生活する予定の方です。(例えば、福祉サービスの利用手続きや生活費の管理が一人では難しいと思う方など)
- サービスを直接提供するの、各市町村ごとに登録されている「生活支援員」です。
- 一回(一時間程度)の利用で、利用料金千二百円と生活支援員の交通費実費をいただきます。(生活保護を受けている方は、公費で補助されるので無料です。)書類等の預かりで金融機関の貸金庫などを利用する場合は、費用の実費をいただきます。

～車いすを寄付させていただきました、
「飛んでけ！車いす」の会より、お礼状が届きました～



ご協力ありがとうございました！！

蘭越町社会福祉協議会様

ご提供いただきました車いすが、ネパールの① Buddhikumar Danuwar さん、② Biru Magarati さん、③ Kaushila Bista さん、④ Ramkrishana Giri さんの 4 名にお渡すために、ネパール骨髄損傷スポーツ協会 (Nepal Spinal Cord Injury Sports Association) に届けられました。

車いすをお届けした方からのメッセージです。

「ネパールでは、今だに道路状況も悪く、車いすの人が外に出る機会が少ない中で、スポーツを通じた社会参加を促している団体でした。競技実績も残しており、その意欲に感動しました。」

ご協力に感謝いたします。今後ともよろしく願いいたします。



2023 年 3 月 14 日 上田理子
「飛んでけ！車いす」の会事務局
〒064-0822
札幌市中央区南 8 条西 2 丁目 5-74
市民活動プラザ星園 402 号室
Tel/Fax: 011 - 215-8824
tondeke@bz01.plala.or.jp

第31回冬季ゲートボール大会 (1月24日・総合体育館)

優勝 松田主将チーム 準優勝 脇山主将チーム

第23回町民スポーツゲートボール大会 (1月24日・総合体育館)

優勝 松田主将チーム 準優勝 山岡主将チーム

第17回グラウンド・ゴルフ冬季交歓大会(1月25日・総合体育館)

優勝 西岡孝一 準優勝 山岡 信夫 3位 土井信夫
4位 笠井静江 5位 北山和子 6位 幅野進 7位 栗本猛

第23回老人クラブスポーツ交流会 (2月15日・総合体育館)

男性の部 1位 谷口邦男 2位 守田勇 3位 幅野進
女性の部 1位 福村京子 2位 北山和子 3位 住吉洋子



令和5年度一般賛助金納入のお願い

令和5年度の社協一般賛助金の納入依頼を、4月14日付けで行政協力員さん宛にお願いしております。(1世帯700円以上)今年度も福祉事業の一層の推進をはかるため、町民皆様方の御協力を賜りますようお願い申し上げます。

特別賛助会員を募集しています

社会福祉協議会は、私たちが住む地域社会の中で抱えている様々な福祉問題を明らかにして、地域のみんで考え、話し合い、協力して解決することを目的としています。

令和5年度の事業の充実を図るため、特別賛助会員を募集しておりますので、御協力をお願いいたします。〔特別賛助会員〕団体・個人 1口 3千円・5千円・1万円以上 (令和4年度は155会員)

主な社協事業

1月

冬休み子どもと高齢者の交流会
身体障害者福祉協会お弁当配付
(13日まで)

後志振興局管内プラットホーム
オンライン会議

全社協会長表彰伝達式
災害ボランティアセンター協定

母子寡婦会訪問事業(20日まで)
ボランティア連絡会支部長会議

町民スポーツゲートボール大会
グラウンド・ゴルフ冬季交歓大会

北海道地域防災マスター認定研修会
(倶知安町)

2月

高校生除雪ボランティア活動
社協定例監査
家事関係機関との連絡協議会

社協正副会長会議
個人情報研修ウェブ会議
オンライン会議

蘭小6年生紙製募金箱作成
老人クラブスポーツ交流会

日常生活自立支援事業倫理研修オンライン
生活支援コーディネーター養成
オンライン研修

社協法人監事オンライン研修
名駒地区福祉懇談会

田下地区福祉懇談会
大谷地区福祉懇談会

三和地区福祉懇談会
港地区福祉懇談会

3月

21日 社協法人監事オンライン研修
22日 名駒地区福祉懇談会
24日 田下地区福祉懇談会
27日 大谷地区福祉懇談会

1日 三和地区福祉懇談会
2日 港地区福祉懇談会

●各種申請に必要な顔写真撮影支援事業

マイナンバーカード等の申請をする65歳以上の方を対象に顔写真を無料で撮影いたします。

●町内会が主体で行う葬祭協力事業

日頃から社会福祉協議会に深いご理解を賜り厚くお礼申し上げます。蘭越町社会福祉協議会では、町内会が行っております葬儀をお手伝い致します。

限られた職員での対応、また限られた時間での対応となりますが、社協賛助会員加入

町内会に少しでも協力して参りたいと思えます。

●蘭越町社会福祉協議会福祉推進員の変更・追加随時受付

追加随時受付

各町内会に福祉推進員1名の設置をお願いしております。新年度を迎え、福祉推進員の交代がありましたらご連絡をお願いします。最も身近な町内会に福祉推進員をおくことで、民生委員と連携強化をはかり、福祉情報がいち早く社協や行政に届くと共に、福祉情報を発信できる体制の確保をはかるために、町内会1名の設置をお願いしております。

●お問い合わせ、お申し込み、ご連絡

蘭越町社会福祉協議会

固定電話または行政通信システム

電話57・5203

●紙製募金箱のご協力お願いします

組立式紙製募金箱が4月15日以降、行政協力員様から各ご家庭に届く予定となっております。回収につきましては11月1日を予定しておりますのでご支援ご協力をお願いいたします。

●青い鳥郵便葉書の無償配付

「青い鳥郵便葉書」は、青い鳥をデザインしたオリジナル封筒に通常はがき20枚を封入したものです。身体障がい者および知的障がい者の福祉に対する国民の理解と認識をさらに深めることを目的として社会貢献のための取り組みの一つとして継続しています。

〔お問い合わせ〕 蘭越町内各郵便局

〔期間〕 4月1日から5月31日まで

〔対象者〕 身体障がい者手帳1級または2級、知的障がい者療育手帳Aまたは

は1度もしくは2度の表記がある方は



共同募金

この社協だよりは、共同募金の配分金で印刷されています。

高齢者の状況 (65歳以上)

	令和4年 3月31日現在	令和5年 3月31日現在
男性	781名	774名
女性	997名	1,009名
合計	1,778名	1,783名
割合	40.0%	41.0%

蘭越町社会福祉協議会職員紹介

職名	氏名
事務局長 (再任用)	中田 潤一
総務係長兼福祉係長	日野 一也
総務係兼福祉係主任	佐々木 脩太
臨時職員	向山 美穂
高齢者生活支援員	畑下 力
高齢者生活支援員 兼福祉有償運送運転手	田端 雅彦
高齢者生活支援員 兼福祉有償運送運転手	淀谷 融
高齢者生活支援員 兼福祉有償運送運転手	山口 誠治

- 2日 社協法人オンライン研修
- 4日 蘭越東地区福祉懇談会
- 7日 蘭越地区福祉懇談会
- 9日 後志地区社協と自立支援機関とのオンラインミーティング
- 14日 後志老人クラブ連合会長副会長会議 (俱知安町)
- 15日 目名地区福祉懇談会
- 16日 昆布地区福祉懇談会
- 16日 ゲートボール協会役員会
- 17日 母子寡婦会紙製募金箱作成
- 20日 第4回定時理事会
- 22日 市民後見人フォーアップオンライン研修会
- 24日 除雪ヘルパー宅御礼訪問
- 28日 老人クラブ連合会理事会
- 30日 ボランティア活動推進協議会定例会
- 30日 ボランティア交流会
- 30日 第2回臨時評議員会

社会福祉事業に対する善意の御寄附ありがとうございます

社会福祉事業資金として、次の方々から御寄附をいただきました。皆様のあたたかい善意に対し、心から感謝申し上げます。

寄附月日	住所	寄附者氏名・団体名	寄附内容
1月31日	字清水	今村アサ様	香典返しの一部として
2月8日	蘭越町	小木健一様	香典返しの一部として
2月10日	蘭越町	蘭越町グラウンド・ゴルフ愛好会 会長伊藤嘉則様	社会福祉資金として
3月3日	大阪府	親谷光一様	香典返しの一部として
3月10日	字湯里	小林稔様	香典返しの一部として
3月13日	蘭越町	北山淳子様	香典返しの一部として
3月17日	真狩村	外山正弘様	香典返しの一部として
3月24日	蘭越町	松緑神道大和山岩内教区 婦人部蘭越支部様	社会福祉資金として
3月31日	字黄金	板谷登美男様	香典返しの一部として

(令和5年1月6日～3月31日までの期間)

フォトギャラリー 驚きの朝

【蘭越町 丸山政義さん 撮影】



3月20日、午前5時38分、日の出前の出来事で、見たこともない初めての色鮮やかな色。

数十秒から一分ほど、朝日の出る前の大空のマジックショーで、清流日本一の尻別川からこの景色を観たときは興奮しました。(本人談)

朝焼けが綺麗に見えるためには、①太陽の位置 ②湿度 ③大気中の雲や塵と、3つの要素があるそうです。

私には早起きとついう4つ目の要素もありますので、これをクリアして一度は見てみたいものです。

なお、撮影した写真を社協だよりおもいやりに掲載したい方がありましたら、社協 日野までご連絡ください。(電話 57-5203)